

## 2月に向けて

代表取締役 三田雅憲

皆様ご存じかもしれませんが、今タレントの中居君こと中居正広さんが女性ハラスメントトラブルを起こし、フジテレビを含め大変な問題となっております。中居正広さん側は被害者女性に示談金9,000万円を支払ったとか支払っていないとか。又、本人は引退まで発表されました。フジテレビ側においてもCMの大量撤退が相次いでおります。会社側も問題発生後1年間が経過しており、遅い対応や会社会見も静止画の会見で限定的な報道機関だけの招集であったことも疑惑の拡大となったきらいがあります。中居さんのトラブルに関してはフジテレビ社員の関与も疑いがあり、一般女性や女性アナウンサーを飲み会やホテルへアテンドして、そこでセクハラが行われた内容が伝え聞こえております。直近では生島ヒロシさんがハラスメントにより番組降板と無期限の自粛が報道されています。

今月は企業で発生するハラスメントについて、少し皆さんと勉強したいと思います。セクシャルハラスメントに関しては次の8点が一般的に言われます。

- ①キスを強要された
- ②手を握られた
- ③肉体関係を迫られた
- ④胸やお尻を触られた
- ⑤下着を覗かれた
- ⑥飲み会や集団の場で卑猥な発言をされた
- ⑦性的な発言を強要された
- ⑧執拗にデートやホテルに誘われた

上記に関しては、発言している方は半分冗談であったと言うかもしれませんが、言われた方のショックは大変なことであると思います。セクハラが企業にもたらす損失は、大きく見ればフジテレビのように企業イメージが低下しCMの大量撤退(売り上げの減少)や社員の採用活動が難しくなったりします。又、社内で見れば、被害者の労働意欲を失わせるだけでなく、ほかの労働者も自分たちの人権が軽視されていると感じます。またセクハラが原因となり労働者が精神疾患を発症した場合は、加害者だけでなく会社も安全配慮義務違反により損害賠償を請求されることが考えられます。

このようにハラスメントは今や社会的に大変重要で改善し、会社が楽しく勤務できる場所でなければなりません。今後より一層会社としてパワハラ、セクハラの根絶を目指して取組みを強化していきます。特に会社での立場の高い方々は十分この辺を理解して、部下や後輩の手本となる人間性の確立に尽力して行ってほしいと思います。